

## 2016年 教育部山行 釈迦ヶ岳と大日岳

5月2日夜～5日までのスケジュールで、教育部春山山行で前穂高岳を目指す予定でしたが、天候不順で急遽中止。残念会として、5月4日～5日で大峰山脈の釈迦ヶ岳(1799m)とお隣にある大日岳に登りました。

(行程)10:10登山口～12:03釈迦ヶ岳頂上～12:45深仙小屋で昼食～13:15小屋出発～14:00大日岳頂上～15:20釈迦ヶ岳と深仙小屋の分岐～17:15下山



4日は朝から晴天の中、総勢7名の山行。  
十津川村方面の登山道から10:10に入山して、気持ちよく釈迦ヶ岳の稜線を登っていきます。

真っ青な空が、目にしみる。

遠くに見える大日岳。  
頭がとんがっていて、険しそう、大変そう・・・

登るにつれて、風が強くなってきて、ひんやりと汗がひいていきます。

「この高度でこれだけの風だったら、アルプスとかすごい強風ですね。中止にして正解でしたね～」と口々に言いあいながら、満足して歩きます。



釈迦ヶ岳の頂上に、高さ3.6mの、とても大きな「釈迦如来」が建立されています。

頂上からの景色は、360度見渡す限り、山、山、山。



しかし、頂上は結構風がきつく、ここでのお昼ご飯は断念して、深仙小屋目指して早々に出発。





深仙小屋の前にあったおもしろい形の木。  
登って、座れたら気持ちよさそう。登れないけど…

ここから大日岳までは、すごい急な岩場続きで、残念ながら  
写真は写せませんでした。

大日岳から深仙小屋に戻って、振り返ったところがこれ。  
メンバーのうち 1 人は、あの岩の斜面を鎖で登りましたが、後  
のメンバーは巻き道から頂上へ。巻き道でも、岩をよじのぼる感  
じのルートでした。



元の道に戻って、登山口に到着したのは、17:00過ぎ。  
宿泊はテントですが、どこに張るか話し合いの末、安全の  
ためオートキャンプ場に行こうと決定。

夜は、お鍋とビールで乾杯。  
寒いので、オートキャンプ場設置の薪ストーブで暖まりな  
がら、夜が更けていきます。



翌日は朝から、谷瀬の吊り橋に。  
9:00までは吊り橋が往復できるとのこと、早起  
きは三文の…(9:00以降は片道のみ通行になり  
ます)

全長297mの吊り橋は、風がなくても人の通行で  
結構揺れて、怖いというより、少し酔いそう。  
でも、爽快な往復でした。



山行の仕上げは、ゆったり温泉。  
10:00開館のため、温泉横の河原を少し散策。  
水が透き通っていて、手を浸けるととてもひんや  
り。

お天気に恵まれて、最高の 2 日間でした。